

## 平成 26 年度とっとり県民参加の森づくり推進事業（報告）

### 歴史の種まき今滝の森と沢保全の物語

11 月 2 日心配した天気も持ち直し 10 回目の事業に相応しい秋の日和の中 50 人の参加を賜り日程通り開催する事が出来ました。

#### 「開会式」 9 : 30

里見理事長の主催者挨拶と舎人地域区長幹事：池口氏歓迎挨拶に続いて講師：森本先生、土井先生、前田先生を紹介し、その後スケジュール、諸連絡、注意事項を参加者に案内した。

#### 「国主神社」 10 : 00

この社地に移転して 375 年、規模こそ小さいが社叢は形容しがたい神秘さえ感じられた、樹齢 500 年経つタブノキ、300 年以上と伝えられるクスノキ、ムク、ケヤキ、ヤブツバキ、又、隣りの因幡藩に伝わる麒麟獅子頭、更には晴天になると地中から這い出し樹幹に上る数ミリメートルのアヅキガイ、マキガイを見た、稀少生物とのこと、いくつかの不思議を体験した。

#### 「往路」

普段見過ごしている道草や沢の植物について講師の話聞き何故か新鮮でひとつひとつの植物がとても大切に思え満ち足りた気持ちになれた。

#### 「今滝」 11 : 00

谷沿いの沢伝いに約 200m 手前から滝までの間、右側の山は原生木で左側の山は対照的に杉の人工林で一見に値する構成だった。又、周辺併せて 3 つの滝があるその生い立ちは、鉢伏山の噴火に因るものとの推測、さらに滝周辺の稀少植物の説明、南限、北限について、参加者は興味深く聞き入った。

44m の滝の右壁は厳寒期には 40m の巨大な氷柱が見られるとの地元の人の話も聞いた

#### 「土砂災害・水害」 11 : 30

砂防指定地域内に植樹をする事もあり、県河川砂防課：前田課長補佐の説明を聞き防災に対する日頃からの心掛けや注意を学んだ。

#### 「昼食」 11 : 55

舎人女性会の手作り亥の子料理を前田まゆみ氏の方言を交えた説明を聞きながら有難く

昼食を頂いた。又、舎人地域の昔話・歴史について郷土史研究会の土井氏から説明を聞いた。

「植樹」 13 : 00

最初に植樹について手順、ポイントを聞き 3~4 人一組で作業をした、簡単そうに見えてなかなか難しく補助員やスタッフに助けられながら 30 本を時間内に植え付け完了した。

この日、植樹した樹木はイロハモミジで高さ 2.5m 枝張り 1.5 内外を植え付けた。植付けには地形に相う様斜めに植えたり、真直ぐに立込んだり工夫が見られた、やがてこの木が自立成長し、周辺風景に馴染み紅葉のスポットとして親しまれる木々に育つまで見守りたいものだ。

「閉会式」 15 : 00

豊田副理事長の挨拶で森林環境保全税のハード事業、ソフト事業を再度説明し、参加者の森林保全の意識高揚、を確認し閉会した。

「終わりに」

この度の事業開催に当たり御参加賜りました参加者の皆様、地元地区民として協力して頂いた北福の皆様、共催の舎人女性会、後援の湯梨浜町、新日本海新聞社、講師の皆様、国主神社、森林保全団体、他多くの皆様にご協力いただき、お陰様でサカズキネット 10 回目の事業を無事終了する事が出来ました事一同衷心よりお礼申し上げます。

特定非営利活動法人サカズキネット  
理事長 里見 泰男

実行委員長 清水俊男

開会式



理事長挨拶



国主神社



社 叢



神社拝殿



植生の説明を聞く



大径木説明

国主神社



樹齢 500 年タブの木



国主神社歴史説明



因幡に伝わる（麒麟獅子頭）



往 路



植生の説明を聞く



靴滑り止めの紐



沢と板橋



滝・ムク・ヤブツバキ



滝植物の話聞く



稀少植物の岩壁



集合写真



滝 帰 路



昼食テント



県前田課長補佐（砂防災害についての説明）



昼食のお世話を頂いた舎人女性会メンバー



昼食メニュー（亥の子料理）



亥の子の話と舎人の昔話・歴史



植 栽 状 況



標柱設置



集合写真



イロハモミジ植栽



閉会挨拶